



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

コード番号 4733 URL <http://www.obc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 成史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 和田 弘子

TEL 03-3342-1881

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,279	△0.8	5,448	△0.3	6,245	7.4	3,438	4.8
23年3月期第3四半期	12,383	10.0	5,464	30.0	5,815	15.4	3,281	12.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	182.51	—
23年3月期第3四半期	174.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	71,451	65,219	91.3	3,462.04
23年3月期	76,030	66,467	87.4	3,528.29

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 65,219百万円 23年3月期 66,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
24年3月期	—	40.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△1.2	7,600	△5.3	8,800	△1.0	5,200	8.3	276.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	20,176,000 株	23年3月期	20,176,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,337,491 株	23年3月期	1,337,491 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	18,838,509 株	23年3月期3Q	18,838,559 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、実際の業績は、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州における債務危機の深刻化などにより世界経済が減速している中で、株式市場の低迷や円相場の高騰が長期化しており、依然として厳しい状況が続いております。こうした経済情勢の中で、情報サービス産業においては、震災を教訓にしたBCP(事業継続計画)への対応による需要から、データセンターやクラウドコンピューティングの市場においては安定的な成長がみられるものの、引き続き企業業績が低迷していることから、設備投資意欲には積極性が見られず、全体としては厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社は、「顧客第一主義」を念頭に置き、業務用パッケージソフトウェアのメーカーとして、多様な企業環境に対応したシステムの開発・提案を行うと同時に、既存ユーザーへの保守等サポート体制の強化にも努めてまいりました。

中小企業向けのインターネット技術との融合を図った「奉行iシリーズ」、成長・中堅企業向けERPパッケージ「奉行V ERPシリーズ」、IFRS導入を検討されるグループ企業向け製品「奉行V ERP Enterprise Group Management Edition」など製品群を充実させ幅広い層の企業へのシステム提案を可能にしております。

具体的な施策としては、お客様に製品の機能性と操作性を体感していただけるイベントとして、「奉行i体感フェア」を全国で開催いたしました。導入を検討されるお客様と幅広く触れ合う機会を設けることにより、当社からの情報発信だけにとどまらず、お客様の声をじかに感じ、既存製品の改善にも役立ててまいりました。

このような活動の結果、当第3四半期累計期間における業績は次の通りとなりました。

売上高は、サービス売上(保守メンテナンス等)は堅調に推移しましたが、プロダクト売上(ソリューションテクノロジー(奉行シリーズ製品)・関連製品(奉行サブライ等))が減少し、122億79百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

損益面については、売上高の減少により、営業利益は54億48百万円(同0.3%減)となりました。経常利益62億45百万円(同7.4%増)、四半期純利益34億38百万円(同4.8%増)の主な要因としては、営業外費用の減少によるものであります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、714億51百万円となり、前事業年度末に比べ45億78百万円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券の減少70億59百万円等によるものであります。

なお、純資産額はその他有価証券評価差額金の減少により、前事業年度末に比べ12億48百万円減の652億19百万円となり、自己資本比率は91.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は(以下「資金」という。)は354億20百万円となり、前事業年度末と比較して27億61百万円の増加となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、29億58百万円(前年同期は29億30百万円の収入)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益62億26百万円、売上債権の減少額17億61百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額42億75百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、13億21百万円(前年同期は33億33百万円の支出)となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却等による収入21億35百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億7百万円(前年同期は15億7百万円の支出)となりました。要因は、配当金の支払額によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の売上高は、当初の計画どおり推移しており、第4四半期においても概ね当初の計画どおりに推移する見通しであります。よって、平成23年10月28日に公表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,661,733	35,430,237
受取手形	230,668	216,825
売掛金	4,432,037	2,684,473
有価証券	6,776	—
商品及び製品	107,682	154,480
仕掛品	1,002	1,057
原材料及び貯蔵品	59,903	48,143
未収入金	3,459	2,838
前払費用	57,393	57,393
繰延税金資産	368,231	256,379
その他	7,335	8,443
貸倒引当金	△17,885	△17,364
流動資産合計	37,918,339	38,842,908
固定資産		
有形固定資産	287,305	305,398
無形固定資産	156,114	97,792
投資その他の資産		
投資有価証券	33,727,888	26,668,675
関係会社株式	31,093	31,093
関係会社出資金	1,255,833	1,255,833
関係会社長期未収入金	83,150	77,740
関係会社長期貸付金	84,517	84,517
長期預金	800,000	800,000
長期未収入金	148,195	16,686
敷金及び保証金	466,714	495,596
会員権	91,030	68,205
破産更生債権等	20,314	10,935
繰延税金資産	1,068,531	2,795,767
貸倒引当金	△108,981	△99,602
投資その他の資産合計	37,668,286	32,205,447
固定資産合計	38,111,706	32,608,638
資産合計	76,030,045	71,451,547

（単位：千円）

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,076	172,887
未払金	338,690	301,394
未払費用	462,154	355,011
未払法人税等	2,298,625	335,347
未払消費税等	178,691	76,368
預り金	60,325	128,312
前受収益	4,942,487	3,979,466
役員賞与引当金	50,000	25,000
関係会社整理損失引当金	230,000	—
その他	10,174	15,511
流動負債合計	8,778,226	5,389,300
固定負債		
退職給付引当金	699,458	757,166
資産除去債務	84,579	85,391
固定負債合計	784,037	842,558
負債合計	9,562,263	6,231,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	39,542,314	41,473,422
自己株式	△5,168,074	△5,168,074
株主資本合計	63,842,507	65,773,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,625,274	△553,926
評価・換算差額等合計	2,625,274	△553,926
純資産合計	66,467,781	65,219,689
負債純資産合計	76,030,045	71,451,547

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
売上高	12,383,842	12,279,136
売上原価	1,998,708	1,930,707
売上総利益	10,385,134	10,348,428
販売費及び一般管理費	4,920,714	4,900,123
営業利益	5,464,419	5,448,305
営業外収益		
受取利息	7,989	1,019
有価証券利息	18,566	18,307
受取配当金	1,288,874	925,795
投資有価証券売却益	327,034	156,720
関係会社整理損失引当金戻入額	—	39,670
その他	29,742	14,465
営業外収益合計	1,672,207	1,155,980
営業外費用		
有価証券売却損	52,650	—
有価証券評価損	53,598	—
投資有価証券売却損	425,869	83,472
投資事業組合運用損	702,529	238,061
その他	86,277	37,597
営業外費用合計	1,320,925	359,131
経常利益	5,815,701	6,245,154
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,100
特別利益合計	—	8,100
特別損失		
投資有価証券評価損	23,000	—
投資有価証券売却損	—	4,233
関係会社貸倒引当金繰入額	186,000	—
会員権評価損	2,800	22,825
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,786	—
特別損失合計	247,586	27,058
税引前四半期純利益	5,568,114	6,226,195
法人税、住民税及び事業税	2,251,553	2,312,696
過年度法人税等	168,186	—
法人税等調整額	△133,526	475,310
法人税等合計	2,286,213	2,788,006
四半期純利益	3,281,900	3,438,188

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,568,114	6,226,195
減価償却費	183,891	138,891
退職給付引当金の増減額（△は減少）	55,177	57,708
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△20,000	△25,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	210,286	△9,900
受取利息及び受取配当金	△1,315,430	△945,123
有価証券売却損益（△は益）	52,650	—
投資有価証券売却損益（△は益）	98,834	△77,115
有価証券評価損益（△は益）	53,598	—
投資有価証券評価損益（△は益）	23,000	—
関係会社整理損失引当金戻入額	—	△39,670
会員権評価損	2,800	22,825
投資事業組合運用損益（△は益）	702,529	238,061
売上債権の増減額（△は増加）	1,191,555	1,761,406
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,867	△35,093
仕入債務の増減額（△は減少）	△64,904	△34,188
未払消費税等の増減額（△は減少）	△21,360	△102,323
未払費用の増減額（△は減少）	△315,030	△295,842
前受収益の増減額（△は減少）	△890,906	△963,021
その他	267,144	369,543
小計	5,784,818	6,287,353
利息及び配当金の受取額	1,317,974	947,169
法人税等の支払額	△4,171,944	△4,275,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,930,848	2,958,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,200,023	—
有価証券の売却による収入	1,927,823	—
投資有価証券の取得による支出	△9,130,114	△523,809
投資有価証券の売却による収入	6,709,710	2,135,950
関係会社貸付金の回収による収入	20,000	—
関係会社貸付けによる支出	△106,000	—
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△20,908	△55,492
無形固定資産の取得による支出	△37,438	△15,519
敷金及び保証金の回収による収入	5,155	3,891
敷金及び保証金の差入による支出	△1,874	△32,773
関係会社の整理による支出	—	△190,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,333,668	1,321,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,507,431	△1,507,245
自己株式の取得による支出	△225	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,507,656	△1,507,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,253	△11,492
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,925,730	2,761,726
現金及び現金同等物の期首残高	31,791,943	32,658,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,866,213	35,420,237

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

（セグメント情報）

前第3四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）及び

当第3四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

当社は、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

当社は、ソフトウェアの販売から導入・保守サービスまでを一貫してユーザーに提供しております。これらの事業活動においては、研究開発活動、営業活動ともに密接不可分なものであるため、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントとしております。つきましては、補足情報として、品目別に「プロダクト」（ソリューションテクノロジー及び関連製品）と「サービス」についての販売実績を下記のとおり開示いたします。

四半期販売の状況

（単位：千円・％）

品 目	前第3四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）		当第3四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	同期比
プロダクト	6,797,176	54.9	6,480,999	52.8	△316,177	△4.7
ソリューションテクノロジー	4,352,698	35.2	4,147,984	33.8	△204,713	△4.7
関連製品	2,444,478	19.7	2,333,014	19.0	△111,464	△4.6
サービス	5,586,665	45.1	5,798,137	47.2	211,471	3.8
合 計	12,383,842	100.0	12,279,136	100.0	△104,705	△0.8